

宮城県感染症発生動向調査情報(第37週)

宮城県【平成25年09月19日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.9.9 ~ 9.15 ・ 第37週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第34週	第35週	第36週	第37週		
水痘	1 0.20	4 0.40			3 1.00			9 0.35	17 0.29	2,568	○→	レ→	→			
流行性耳下腺炎		4 0.40			3 1.00	3 0.60	1 0.50	5 0.19	16 0.28	845	→	→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	21 4.20	21 2.10	4 0.80	5 2.50	25 8.33	3 0.60		47 1.81	126 2.17	12,380	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病	45 9.00	53 5.30	47 9.40	14 7.00	7 2.33	23 4.60	11 5.50	153 5.88	353 6.09	3,040	◎→	◎→	◎→	◎		
伝染性紅斑	1 0.20						1 0.50	6 0.23	8 0.14	467	→	→	→			
突発性発しん	4 0.80	2 0.20	5 1.00		2 0.67	5 1.00	2 1.00	17 0.65	37 0.64	1,376	○→	○→	○→	レ		
ヘルパンギーナ	9 1.80	23 2.30	6 1.20	10 5.00	4 1.33	8 1.60	5 2.50	56 2.15	121 2.09	1,862	◎→	◎→	◎→	◎		
インフルエンザ											→	→	→			
咽頭結膜熱		1 0.10						3 0.12	4 0.07	664	→	→	→			
流行性角結膜炎		1 0.33						4 0.67	5 0.42	119	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	8 0.80	1 0.20	1 0.50		3 0.60		19 0.73	37 0.64	3,723	○→	○→	○→	○		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	4 4.00				1 1.00	3 3.00	1 0.20	10 0.83	691	→	→	→			
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	1 0.20	10 1.00		1 0.50	2 0.67	4 0.80		16 0.62	34 0.59	553	レ→	○→	○→	○		
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	2	1	1		5	3		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページ をご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症								10							

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし *男児、女児は6歳未満
 2類感染症: 結核
 仙南管内 男性1名
 塩釜管内 男性1名(第35週)
 大崎管内 女性1名
 栗原管内 男性1名
 石巻管内 男性1名(第36週)、男性3名
 仙台管内 男性1名、女性1名
 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 仙台管内 女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
 石巻管内 男性1名、*女児1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
 石巻管内 *女児1名
 仙台管内 男性1名、女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O111)
 仙台管内 男性1名、*男児1名、女性1名
 4類感染症: 報告なし
 5類感染症: アメーバ赤痢
 仙台管内 男性1名
 後天性免疫不全症候群
 仙台管内 男性2名(第36週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【手足口病】
全管内で警報継続中。

【病原性検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第35週採取分 (8.26～9.1)	第36週採取分 (9.2～9.8)	第37週採取分 (9.9～9.15)
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	3件	2件	3件
アデノウイルス	0件	1件	0件
エンテロウイルス	0件	0件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症で下痢を主症状とする。O157やO26、O121、O103などタイプ異なる大腸菌がある。例年夏季に発生し8月がもっとも多い傾向にあるが、9月になっても患者報告数が続いているので発生動向には注意が必要である。
 予防法などについては、宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室HPへ
<http://www.pref.miyagi.jp/situkan/kansensho/daichoukin.htm>

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第35週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.62)、京都府(0.12)、岐阜県(0.09)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,004例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.67)、佐賀県(2.52)、宮崎県(1.78)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.37)、山口県(1.47)、長野県(1.37)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.22)、熊本県(5.60)、島根県(5.39)である。**水痘**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は徳島県(1.17)、沖縄県(0.76)、福岡県(0.65)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(12.21)、長野県(10.83)、北海道(8.23)である。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(0.48)、宮城県(0.22)、新潟県(0.20)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.09)、福井県(0.05)、山梨県(0.04)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.67)、青森県(4.10)、山形県(3.77)である。**流行性耳下腺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.36)、岩手県(0.77)、福島県(0.64)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.17)、石川県(1.00)、青森県(0.83)である。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。